

採血業務支援システム

仕 様 書

調達物品名及び構成内訳

採血業務支援システム	1式
(内訳)	
1 採血業務支援システム 管理PC	1式
2 ハルンカップラベラー	1式
3 整理券発行システム	1式
4 患者誘導システム	1式
5 バーコードプリンター	1式
6 電動昇降採血台	5式
7 採血業務支援システム パネルPC	5式
8 患者誘導支援システム モニター	5式
9 患者誘導システム バーコードリーダー	5式
10 採血チェア	5式

II 調達物品に備えるべき技術的要件

(性能、機能に関する要件)

- 1 自動採血管準備システムについては、以下の要件を満たすこと。
 - 1-1 採血業務支援システム 管理PCについては、以下の要件を満たすこと。
 - 1-1-1 CPUはXeon プロセッサー E-2124(3.3GHz / 4コア / 8MB)又は同等品以上の処理能力を有していること。
 - 1-1-2 メモリーは8GB以上であること。
 - 1-1-3 ストレージはHDD 1TB × 2 (RAID 1)を内蔵していること。
 - 1-1-4 OSはWindows Server 2019 Essentials又は同等品以上であること。
 - 1-1-5 442×169×331mm又は同等以上のモニターが付属していること。
 - 1-1-6 当院で稼働中の自動採血管準備システムと連携すること。
 - 1-1-7 病院資産のウィルス対策ソフトを各クライアントへインストールすること。なお、システム運用に影響がある場合は検索除外リストを管理者へ提出すること。
 - 1-1-8 病院資産のサーバへ接続し、時刻同期を行うこと。なお、サーバ及びクライアントの起動時に必ず時刻同期を行えるように起動ファイル等の設定を行うこと。
 - 1-1-9 病院指定の外部接続機器接続制限ソフトを設定すること。
 - 1-1-10 当院で稼働中の自動採血管準備装置と連携すること。
 - 1-2 ハルンカップラベラーについては、以下の要件を満たすこと。
 - 1-2-1 患者氏名、患者コード、バーコードなどをラベルに印刷し、尿コップに自動貼付できること。
 - 1-2-2 1カップに4枚以上のラベルを自動貼付できること。
 - 1-2-3 尿コップを70個以上セットできること。
 - 1-2-4 外部インターフェイスはRS-232C及びイーサネットの双方に対応していること。
 - 1-2-5 タッチパネル方式の液晶ディスプレイを搭載していること。
 - 1-2-6 当院で稼働中の自動採血管準備装置と連携すること。
 - 1-3 整理券発行システムについては、以下の要件を満たすこと。
 - 1-3-1 整理券プリンターを有し、整理券のレイアウトを自由に変更する機能を有すること。
 - 1-3-2 整理券プリンターの印字幅は、72mm以上あること。
 - 1-3-3 整理券プリンターのドット密度は、縦横8ドット/mm以上あること。
 - 1-3-4 当院で稼働中の自動採血管準備装置と連携すること。
 - 1-4 患者誘導システムについては、以下の要件を満たすこと。
 - 1-4-1 採血指示書を採血台のバーコードリーダーで読み取ると、患者を採血台へ誘導する情報を表示できること。
 - 1-4-2 呼び出しで不在であった患者の整理番号を表示できること。
 - 1-4-3 採血待ち時間を自動計算して表示できる機能を有すること。
 - 1-4-4 採血室に関するインフォメーションを登録でき、登録情報を表示できること。
 - 1-4-5 43インチ(973.0(W) x 561.2(H) x 63.5(D)mm)以上のディスプレイを有し、解像度は3840x2160以上であること。
 - 1-4-6 当院で稼働中の自動採血管準備装置と連携すること。
 - 1-5 バーコードプリンターについては、以下の要件を満たすこと。
 - 1-5-1 印字速度は152mm/秒以上の処理速度を有しており、解像度は300dpi以上であること。
 - 1-5-2 印字方式は感熱方式であること。
 - 1-5-3 ラベルの印字幅は、最大105mm以上であること。
 - 1-5-4 寸法は、170mm(W)×240mm(D)×152mm(H)以下であること。

- 1-5-5 重量は、2.3kg(接続ケーブル及びACアダプター除く)以下であること。
- 1-5-6 当院で稼働中の自動採血管準備装置と連携すること。

- 1-6 電動昇降採血台については、以下の要件を満たすこと。
 - 1-6-1 電動昇降機能を有すること。
 - 1-6-2 外形寸法は幅600×奥行500mm以下であり、高さは650～900mmの範囲内で調整可能であること。

- 1-7 採血業務支援システム パネルPCにしては、以下の要件を満たすこと。
 - 1-7-1 CPUはIntel Atom E3845(1.91GHz)又は同等以上の処理能力を有していること。
 - 1-7-2 メモリは4GB以上であること。
 - 1-7-3 ストレージは、SSD 40GB以上であること。
 - 1-7-4 OSはWindows 10 Enterprise 又は同等以上であること。
 - 1-7-5 タッチパネル対応で、12.1インチ以上のカラー液晶ディスプレイを有していること。(解像度1024 x 768)
 - 1-7-6 病院資産のウィルス対策ソフトを各クライアントへインストールすること。なお、システム運用に影響がある場合は検索除外リストを管理者へ提出すること。
 - 1-7-7 病院指定の外部接続機器接続制限ソフトを各クライアントへ設定すること。

- 1-8 採血業務支援システム モニターにしては、以下の要件を満たすこと。
 - 1-8-1 モニタの画面は12インチ以上のサイズであること。
 - 1-8-2 カラー液晶モニターであること。

- 1-9 採血業務支援システム バーコードリーダーにしては、以下の要件を満たすこと。
 - 1-9-1 規格は66mm(W)×75mm(D)×150mm(H)以下であり、重量は250g以下であること。
 - 1-9-2 当院に設置されている採血架台に設置可能であること。
 - 1-9-3 当院にて稼動している自動採血管準備装置から発行された採血ラベルのバーコードを読み込めること。

- 1-10 採血チェアにしては、以下の要件を満たすこと。
 - 1-10-1 両ひじ掛けが有ること。
 - 1-10-2 椅子の足は固定足であること。
 - 1-10-3 昇降対応であること。

